

くぬぎ分教室 修了式

東京都立府中けやきの森学園 くぬぎ分教室

令和4年度のくぬぎ分教室修了式が、3月24日に無事に行われました。今年度は院内の感染症対策のため、2学期終業式と3学期始業式を行うことができませんでしたが、修了式は久しぶりに多目的ホールに在籍児童・生徒が集まることができました。こうして無事に修了式が迎えられるのも、府中療育センターの皆様にご理解と御協力をいただき、くぬぎ分教室の児童・生徒をあたたく見守っていただいているおかげです。改めて感謝申し上げます。ありがとうございます。

修了式では、校長先生からは「目標を考えて、その目標を達成するための方法を考え、それに向かって努力しましょう」、「4月の新学期にはみんな笑顔で登校できるように」というお話をしてもらいました。そして、院長先生からは、一人一人の学年と名前を呼んでいただき、「修了式、おめでとう」というお言葉をかけていただきました。名前を呼んでもらったときには目を大きく開いたり、口を動かしたり、声を出して応じる児童・生徒もおり、院長先生のお話にしっかりと耳を傾けていました。

今年度の振り返りは、1年間の学習の取組みを大型スクリーンにスライドを映して行い、出席者の皆様に見ていただきました。児童・生徒たちが一生懸命に取り組む姿、素敵な笑顔で取り組む様子は、私たち教員にとっても励みとなります。

児童・生徒は修了式で1年の終わりという一つの節目を感じ、また4月に一つずつ学年が上がります。そして、次の1年間でまた大きく成長してくれることでしょう。

修了式



〒183-8553
東京都府中市武蔵台2-9-2
東京都立府中療育センター
電話 042(323)5115
FAX 042(322)6207

--*ホームページもご覧ください*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>

ひだまり

都立府中療育センター新聞 第543号 発行日 令和5年3月31日

通園卒園式

通園担当 高橋智恵子

令和5年3月28日(火)、満開のさくらの中、卒園式・退園式を行いました。今年度は新型コロナウイルス感染症対策をしっかりと踏まえた上で、在園児(年中児のみ)も参加しての式になりました。在園児が全員参加しての式は難しいため、事前に各クラスで「おわかれ会」を行い、お友だちや保護者のみなさんと門出をお祝いしました。

式当日、いつもと違う広い多目的ホールで、小森小児科部長から直接保育証書を受け取る姿は、とても堂々としていました。さすが、卒園児、退園児さん!

その後、スライドショーでは、入園当初のかわいらしい姿から、卒園までお友だちとさまざまな経験をしながら楽しく過ごした日々、心豊かに成長した姿を振り返りました。通園での様子をなかなか見る機会がなかった保護者にとっても、その成長を確認できるよい時間になりました。

式の最後には、3年ぶりに「みんなともだち」の歌を合唱♪ 笑って、泣いて、お友だちとたくさん遊んだ今までの思い出がよみがえり、涙があふれそうでした!

新たな出会いの中で、一人ひとりの個性を大切にしながら、笑顔いっぱい! 元気に成長して行ってほしいと思います。

卒園式



ひな祭り会

通所 金内潤



3月3日、通所でひな祭り会を実施しました。はじめに、ひな祭りに関する「うんちく」をお話しました。ひなあられには「娘の健康を祈る」という意味があり、桃・緑・黄・白の4色は四季を表しており、1年を通して娘の健康を祈るという意味が込められているそうです。ただ話をするのは面白くないので、「ラジオネーム〇〇さんからのメールでした～」とラジオ風にするとうちの皆様から大ウケでした。

そして、メインイベントはクラス対抗ゲームです。「お雛様が迷子です！～記憶捜査官；ひな壇を完成させよ！」というタイトルで、空白のひな壇にお雛様たちを貼って完成させるゲームです。もちろん飾ってあるお雛様を見てはダメです。記憶を頼りに捜査（仲間同士で相談してもよし）し完成させてもらいました。男性利用者が多かったクラスは結構難航している様子でしたが、皆様思い思いに貼っていました。

記憶捜査官たちが完成させたひな壇はこちらです↑。皆様から好評につき、記憶捜査官は第二弾があるかもしれません。大変盛り上がったひな祭り会でした。

武蔵台学園から鉢植えを頂きました

生活療育支援科 石田泰美



3月中旬に、武蔵台学園中学部2年生（4月からは新3年生）から、プリムラ・ポリアンサのかわいいお花の寄せ植えをいただきました。新型コロナウイルス感染予防対策のため、担任の先生が代表して持って来て下さいました。以前は、毎年生徒の皆さんが直接センターにいらしていましたが、コロナが流行してからは先生が届けて下さっています。

お花と合わせて、生徒さん一人ひとりからのメッセージカードもいただきました。外来や2階デッキ、エレベーターホール、2階廊下壁面で展示し、利用者や職員、ご家族、短期入所の方々に見ていただいています。

寒さの中、元気に咲いたかわいいお花と色とりどりの手作りカードに、センターのみんなが元気を分けていただきました。武蔵台学園の皆さん、本当にありがとうございました。新3年生になって一層のご活躍を心より応援しています。あわせて、早くまたお会いして交流ができますように。



冬の企画「冬に恋して」

生活療育支援科 松井かやの

2月15日、16日に冬の企画を開催しました。前日14日がバレンタインデーということで、「冬に恋して」をテーマに2つのコーナーを設定しました。

1つ目は、体験コーナー「私をスキーに連れてって！」です。夜のゲレンデをイメージした部屋で、流れているのは懐かしのJ-POPです。スクリーンにはまるでスキーを滑っている気分になれる映像が映し出され、冷たい風を感じながら（ミスト付き扇風機で）、臨場感を味わうことができました。人工雪に触れる体験もあり、サラサラのパウダースノーに素手で触れることに慎重な様子を見せる方とじっくり感触を味わう方、また、冷やした雪に触れるとびっくりした方もいれば、気持ちよさそうな表情を見せる方もいました。

別の部屋では、ゲーム機Switchを使い、スキーのレースを体験できました。利用者と一緒にコントローラーを持ち、左右に傾けながら斜面を滑り、雪にぶつくとブルブルと振動を感じたりしました。少しドキドキする体験だったかもしれません。

2つ目は、ゲームコーナー「ハートを射とめて！」です。多目的ホールに最大で4病棟の利用者が集まり、ソーシャルディスタンスをとりながら、一緒にゲームに参加しました。ゲームは5種類あり、司会者の進行で展開されていきます。入口でもらったハートカードの色が同じ人と相性を占うダーツゲームでは、ダーツがベルに当たって音が鳴ると、会場が盛り上がりました。iPadを使ったルーレットの相性ゲームではなかなか同じ目が出ず、シュートゲームではホバーがゴール前でカーブして外れることもありましたが、それもまた盛り上がりました。他病棟の利用者とゲームに参加し、久しぶりの交流にいつもと違う雰囲気を利用者の皆さんも感じているようでした。

どこか懐かしく、あたたかい気持ちになっただけでしょうか？多くの方にご参加いただき、また、ご協力いただきありがとうございました！

